

## (仮称)金亀公園第1種陸上競技場新築工事の入札結果について

### 1. 本工事の入札概要

#### (1) 入札方式

- ・WTO協定(政府調達協定)に基づく総合評価方式による一般競争入札
- ・2者で構成された特定建設工事共同企業体による入札

#### (2) 入札日程

公告：令和元年5月31日 → 開札：令和元年8月20日

#### (3) 入札結果

(税込み、単位：千円)

入札参加者名	1回目	2回目
大林・三東工業社建設工事共同企業体	11,341,000	(辞退)
奥村・桑原建設工事共同企業体	(辞退)	—
鹿島・笹川特定建設工事共同企業体	10,714,000	10,703,000
清水・西村共同企業体	12,117,600	(辞退)

### 2. 入札不落の主な原因について

陸上競技場新築工事不落対策プロジェクトチームを編成し、入札参加者へのヒアリング等を行い、調査・分析した結果、主な原因として次の点が考えられる。

#### (1) 背景となる市場動向

五輪の開催に向けた公共工事や民間建築の高需要が継続する中、関西地域でも今後大型工事が数多く見込まれ、ゼネコン各社をはじめ専門業者(下請け)も手持ち工事が多く、受注意欲の低い状況にあり、価格の高騰につながったものと考えられる。

#### (2) 工種毎の原因

市場動向を背景として、工種毎には次の原因が挙げられる。

##### ① 躯体工事の影響(鉄筋・コンクリート・型枠工事)

県では、他府県の同種施設の実績や当施設の特異性も一定考慮の上、仕様に応じた積算を行っていたが、入札参加者は施工手間をより精緻に反映した実勢価格を用いていたことから割高になった。

##### ② 特殊な加工・組立工事の影響(鉄骨、PC、屋根、金属工事等)

本工事に関しては、その規模や特殊な形状などから対応できる専門業者が限られており、近年の需要増から余力がある業者が少ないため、競争性が働きにくくなり、入札参加者が徴取する見積りが割高になった。

##### ③ 仮設・土工事の積算の影響(直接仮設、土工事)

県では、標準的な仮設計画により積算していたが、入札参加者は、大規模な建物であり、多くの業種が錯綜する現場の状況を踏まえて、交通誘導員や敷鉄板などの必要な安全対策等を見込んだ仮設計画を基に積算されていることから乖離が生じた。

### 3. 今後の対応方針

- ・令和6年に開催する国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会に支障をおよぼさないよう、再入札に向け早急に必要な対応を行う。
- ・第1種陸上競技場については、必要な機能を満足する最低限の仕様としているが、さらに削減できないか改めて検討する。
- ・主会場整備事業全体について、さらなる削減ができないか精査を行う。